

感染症分野

研究領域

「開発途上国のニーズを踏まえた感染症対策研究」

採択年度	2016年	研究期間	5年間
研究課題名	トルコにおける顧みられない熱帯病、特に節足動物媒介性感染症制御に向けたワンヘルスの展開		
研究代表機関	東京大学		
相手国	トルコ共和国	主要相手国 研究機関	エーゲ大学医学部
研究課題の概要			
<p>昆虫媒介性感染症及び人獣共通感染症は人類の健康にとって脅威であり、その伝播制御は喫緊の地球規模課題である。これら感染症制御には患者の診断、治療、予防と人・家畜・環境の衛生の保全を連携して実施するワンヘルスの展開として、伝播サイクルに関与し感染症を媒介する役割を持つベクター昆虫や、感染症の原因となる病原体を保有するリザーバー動物などの生物因子の制御及び環境要因の把握が必須である。しかし、昆虫媒介性を有し、かつ、人獣共通感染症であるリーシュマニア症及び西ナイル熱は、トルコにおいて大きな健康被害をもたらしているが、伝播サイクルに不明な点が多く、制御する上での障壁が存在している。本研究ではトルコにおいて、伝播サイクル解明とリスクマップ作成、ベクター昆虫及びリザーバー動物制御技術、新規診断技術の研究開発、社会実装を行い、これら感染症制御に貢献することを目的とする。</p>			